

『私はソーシャルワーカー』

社会福祉法人 空心福社会 高橋 主

皆様はじめまして、私は京都府北部福知山市の“高齢者複合福祉施設晴風”でケアワーカーをしています。福知山市は昨年「ミワちゃんとうり坊」で有名になった福知山動物園のある場所です。私が勤務する施設もまた自然に恵まれた場所に位置し、平屋建ての、家庭的な雰囲気を大切にしたい施設です。

私は岡山県の吉備国際大学に在学し学生の頃は、内田節子先生ご指導の下、主に児童福祉について学ばせていただきました。日本ソーシャルワーカー協会様にも内田節子先生のご紹介で入会させていただきました。その節につきましては大変感謝しております。

就職先は当時、介護保険法施行前で、老人福祉の分野に大変高い関心がありましたので、1999年、京都府福知山市にある“社会福祉法人 空心福社会”に採用していただき、現在に至っております。

就職した当時は同じ介護職ではあったのですが、ケアワーカーではなく寮夫という職種で、また老人福祉の分野は専門外でしたので、入職当時は仕事を覚えるのに大変苦労しました。しかしながら総合施設長をはじめ、諸先輩職員の方々に大変助けていただいて、離職率の多いといわれる介護職を13年間続けさせていただくことができました。

施設で生活されていた、利用者からも、言葉を発することができない寝たきりの、利用者の方々にも介護をさせていただくことで、その方の表情などで何を考えておられるのか、また認知症の方にはどのように接すればよいかなど、様々な事を学ばせていただきました。今でも本当に感謝しております。

(※いまから述べる事は私の主観的な意見ですので、間違った事を言っていると思われる方がいらっしやればお許し下さい。)

近年、新しく建設される特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)はユニット型介護老人福祉施設になりハード面(設備面)は、居室が個室化され、パブリックスペースなども設けられて大変素晴らしい構造になりました。

しかしながら、ユニットケアがハード面から議論されたケアの形であった事も要因の一つだと思われませんが、ソフト面(ケアの質)がハード面ほど向上しているかといえばなかなか難しいと思っております。

要因の一つとしましては、介護保険が始まり、ここ十数年の間に介護を取り巻く現場は目まぐるしく変化したことです。私は入職後9年間従来型特養で勤務をしました。

主に従来型特養では利用者全体を把握しながら、プログラムに基づいたケアをするよう学びまし

た。

数年後、個別ケアがクローズアップされて、最初は従来型特養の中でのグループケアから始まり、集団ケアから個別ケアの流れを感じました。その後、ユニット型介護老人福祉施設へ異動になり従来型特養にはなかった家事支援などの家庭的な雰囲気の中で個々のニーズに応じたケアについて学びました。

現在、ユニット型介護老人福祉施設に異動になって4年目になりますが、ユニットケアについてはまだまだ勉強不足で日々自己研鑽が必要であると考えております。

私の職種はソーシャルワーカーではありません。しかし京都府社会福祉士会で理事をされている友次勝彦施設長も常々言われていることですが、ソーシャルワーカーの視点を持って介護をするように言われています。私自身も介護の現場と医療・家族結ぶ、多職種連携の視点にたった介護を目指しています。ターミナルケアの事例を何度か受けもった事がありますが、その際に、家族と、利用者がよい関わり方がもてるように援助することの大切さを学ぶことができました。サービス担当者会議でも介護職は他職種に比べて発言力は弱くなりがちですが、少しでも利用者のニーズを見つけ出し思いを伝えるようにしています。幸いにも私の職場には他職種で理解のある方が多いので助かっております。

現在、新入職員として入職した介護職員の教育を担当することもあります。指導するにあたっては先ず、介護に対する思いや熱意を壊さぬようまた、長く仕事が続けられるようコミュニケーションを大切に何でも相談できるよう心がけています。

またユニットケアの中で個別ケアの援助ができ、ケアプランなどに意見が反映できるよう、他職種の信頼を得られるようなソーシャルワーカーの視点の大切さも学んでほしいと思っています。

最後になりましたが、東日本大震災で被害に遭われた方々に対して心よりお見舞い申し上げます。

私も京都市内に在住している時に阪神大震災を経験し、幸い大きな被害は受けませんでした。大きな揺れと衝撃は今でも覚えております。またテレビなどで悲惨な光景を目の当たりにして、何か困っている方の役立つ仕事がしたいという思いから社会福祉学を学びたいと思いました。

今回、大変辛く悲しい出来事を経験し、ソーシャルワーカーを志す方も多くいらっしゃると思います。そのような方々に、機会があれば私も微力ではありますが、お手伝いさせて頂きたいと思います。今後も日本ソーシャルワーカー協会様の下で様々な事を学ばせていただきたいと思いますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

今回はこのような機会をいただき大変ありがとうございました。乱文・乱筆をお許し下さい。

